

中国地区化学工学懇話会の 50年の歩みと現況

中国地区化学工学懇話会・理事
広島大学工学研究院
都留稔了

懇話会の目的と事業



(名称, 所在地)

第1条 本会は中国地区化学工学懇話会と称し、事務所を東広島市鏡山一丁目4番1号広島大学工学部化学工学教室内におく。

(目的)

第2条 本会は中国地区(四国北西部を含む)における化学工学に関する学術および技術の発展と会員相互の親交を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究会、講習会、講演会および見学会の開催
- (2) 学会の協賛および連絡
- (3) 化学工学教育支援に関する事業
- (4) その他必要と認める事業

制定:昭和37年11月 2日

改正:昭和57年 8月 1日, 昭和60年 4月26日, 平成 6年 4月25日, 平成 7年 4月21日, 平成 11年 4月23日, 平成17年 4月26日

懇話会50年の歩み



化学工学会
(1936化学機械協会)

25周年

50周年
(1986/9/22)

75周年
(2012/3/14)

中国地区懇話会 設立
(1962/10/31)

25周年
(1987/10/23)

50周年
(2012/4/20)

広島大学
化学工学講座

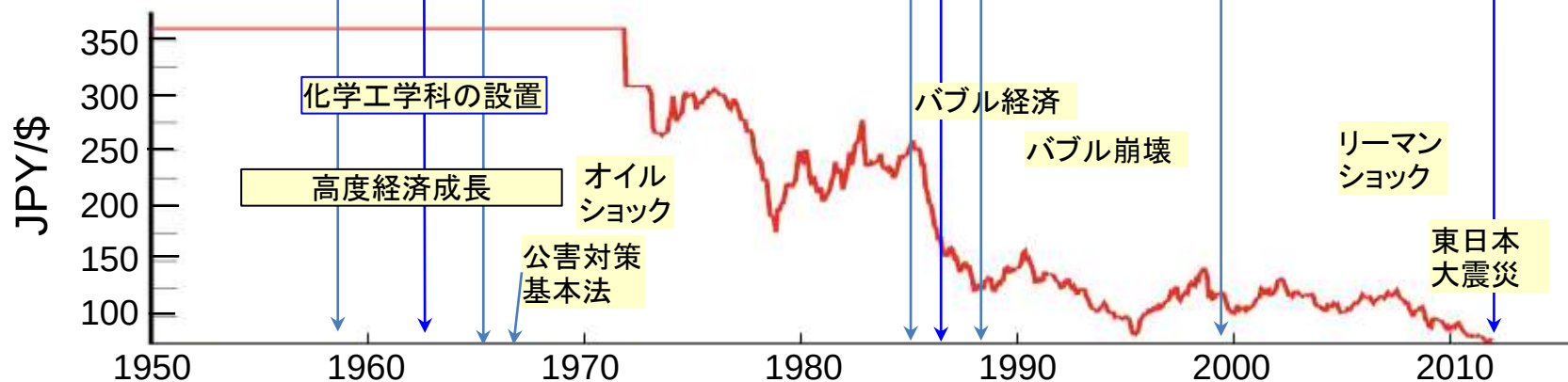
設立
(1959)

岡山地区
懇話会(1966)

徳島懇話
会(1984)

山口地区
懇話会(1988)

中国四国
支部(1999)



25年記念誌の表紙と目次

中国地区化学工学懇話会 25周年記念誌

昭和62年10月

中国地区化学工学懇話会

中国地区化学工学懇話会 25周年記念誌

目 次

巻頭言	25周年を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	中国地区化学工学懇話会会長 三菱レイヨン㈱大竹工場工場長	勝 屋 貞 夫
回顧録	創立25周年記念を迎えるにあたって・・・・・・・・	2
	広島工業大学教授 中国電食防止対策委員会主査	中 井 資 竹 内 信 彦
終了行事一覧	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
規約	・・・・・・・・・・・・・・・・	45
歴代会長	・・・・・・・・・・・・・・・・	47
現理事名簿	・・・・・・・・・・・・・・・・	48
現会員名簿	・・・・・・・・・・・・・・・・	49

25年記念誌の巻頭言と回顧録



25周年を迎えて

会長 勝屋貞夫

会員の皆さん中国地区化学工学懇話会創立25周年記念誌におめでとうございます。

当懇話会が発足したのが昭和37年10月31日ではありますが、はや25周年を迎えることになり、皆さんの感慨も一入と拝察申し上げます。

37年頃と言えば、石油化学工業を中心に化学工業がまさに大きく成長しようとする時期でありました。当然化学工学に対する期待も大きかった訳ですが、化学工学科を有する大学の数も少なく、研究者、技術者の数も決して十分ではなかった頃であります。このような時期に広島大学を中心に各企業が協力して、中国地区における化学工学に関する学術および技術の発展と会員相互の親交を図ることを目的に当懇話会が設立されたことは誠に時宜を得た快挙であったと考えます。

以来、高度成長から低成長へと世の中の目まぐるしい変化に対応しつつ、当懇話会がその役割を十分に果し、大きな成果を挙げて来たことはご同慶の至りであります。

当懇話会の創立そして発展のためにご尽力いただいた広島大学の諸先生、歴代会長、会員の皆さんへの感謝の気持ちを込めて、さらにこの25年間の飛躍への礎とするために、ここに当懇話会の歩みを記しておくことは誠に意義深いことと考える次第であります。

引続き化学工学も産業界の変貌とともに新しい対応を迫られると思います。当懇話会が時代の要請に応じつつ今後益々発展して行くことを心から願うものであります。

この記念誌が多少ともその糧となれば非常に幸いとする所であります。

最後に、本記念誌の編纂にご苦勞いただいた中井、竹内両先生に感謝申し上げ、会員各社のご発展を祈念してご挨拶と致します。

創立25周年記念を迎えるにあたって

中井 資、竹内 信彦

1. はじめに

正に光陰矢の如しで、本年をもって中国地区化学工学懇話会が創立されて25年が経過したことになるが、その間この地区において開催された多彩な学会行事を振り返るときに、それらの行事のために通かに国の内外からこの広島のを訪れて下さった高名な数多くの研究者、技術者の方々の顔が走馬灯のように甦ってくる。

それと同時に、懇話会諸行事を充実発展させるために25年間にわたってご協力、ご支援くださった会員会社関係者の皆さんのお顔が鮮やかに想い出される。

当懇話会25年の歴史のなかで何と265回もの学会行事を行ったことが記録に残されているが、この数字からすれば年間行事数が平均10.6回であったことになり、当懇話会設立の趣旨に沿って十分な学会活動を行ってきたものと高く評価できる。

当懇話会規約第2条によれば、「本会は中国地区（四国北西部を含む）における化学工学に関する学術および技術の発展と会員相互の親交を図ることを目的とする。」とあるが、創立後25年間の歩みはこの趣旨が忠実に具体化されてきたといえるし、その結果として誠に輝かしい歴史が築かれたことになる。

現在の会員数は団体56社、個人4名という10懇話会中最大規模のものに発展している。

あえて事志と違った点を上げるとすれば、当初意図していた当懇話会活動を中国地区全域にということが叶えられなかったことであるが、現実にはそれを必要としない事態が起こったのであるから、目出度い誤算であったと言ふべきであろう。

2. 化学工学協会と地区懇話会

化学工学協会は昭和11年11月6日に創立され、その名称は化学機械協会とされた。化学機械学会ではなく協会としたのは、大学と産業界が共同して学会を設立し、運営していくという趣旨を醸ったものであり、その点は特に強調する必要のある研究者・技術者の集団である。

懇話会の活動(設立年(昭和37年))



昭和37年度

月 日	内 容	参加者
10月31日	設立総会	
	第1回講演会 「化学工学とエンジニア」 電力中央研究所所長、元東京工業大学学長 内田俊一氏	
12月25日	第2回講演会 Non-Newtonian Fluid Dynamics: "Models" and "Material Functions" Univ. of Wisconsin Dr. R. Byron Bird	82名
昭和38年 1月25日 26日	第1回中級講習会 「沸騰伝熱」 広島大学工学部教授 沖 久靖氏 「蒸発装置の選定について」 三菱造船㈱化工機部プラント設計課長 尾野 馨氏 「充填塔の伝熱」 山口大学工学部教授 木村 允氏 「蒸発缶の伝熱係数」 ㈱呉造船所化工機設計課課長 石井照男氏	47名
3月18日 ～21日	第2回化学工学入門講習会 Ⅰ. 化学工学 広島大学 河村祐治氏 Ⅱ. 吸収 三菱造船㈱ 西本是彦氏 Ⅲ. 潤湿・乾燥 広島大学 竹内信彦氏 Ⅳ. 粉体・粉砕 広島大学 井内建次郎氏	80名
22~23日 ※	演習 研究会(第1回~4回) Chem. Process Principles, Part II "Thermodynamics"	33名

設立総会
昭和37年10月31日

講演会
第1回: 内田俊一先生
第2回: Prof. B. Bird
第3回: 水科徳郎先生
第4回: 亀井三郎先生

中級講習会

化学工学入門講座

研究会
Chem. Process Principles, Part2

昭和38年度

5月14日	第3回講演会(記念講演) 「冷却凝縮器の設計計算」 京都大学工学部教授 水科篤郎氏 「乾燥技術の展望」 京都大学名誉教授 亀井三郎氏	130名
-------	--	------

懇話会の活動(設立10周年(昭和47年))



月 日	内 容	参加者
10月22日	第25回講演会 (共催中四国伝熱研究会) 「熱衝撃」 東京工業大学教授 一色尚次氏	70名
11月19日 20日	温度および流量の計測に関する講習会 (共催伝熱研究会他) 1. 温度測定的基础 広島大学 鍋本秀暁氏 2. 圧力測定的基础 " 広安博之氏 3. 流量測定的基础 " 中丸八郎氏 4. 測定値の整理とシステム化 三菱重工業㈱ 成富 義氏	55名
昭和47年 2月15日	第6回講習会—蒸留計算— (共催蒸留技術懇話会他) 東京都立大学 平田光穂氏 名古屋工業大学 山田幾穂氏 (司会 広島大学 頼実正弘氏)	53名
3月 9日 ～16日	第20回化学工学入門講習会 工業化学量論 広島大学 河村祐治氏 抽出 " 藤縄勝彦氏 蒸留 " 吉村尚真氏 調湿および乾燥 " 河村祐治氏 固液分離、集じん " 中丸八郎氏 反応工学 " 中井 資氏	37名 25名
17-18日	演習	

昭和47年度

5月18日	第26回講演会 (記念講演) 「瀬戸内海海域の汚染負荷」 広島大学工学部 津田 覚氏 「ストウルム・ウント・ドラング時代の化学工業」 住友化学工業㈱ 児玉信次郎氏	107名
5月30日 31日	第2回環境汚染防止技術研究セミナー 「瀬戸内海海域の汚染負荷」 広島大学工学部 津田 覚氏 「凝集剤の選択と凝集プラント設計法」 佐賀大学教養部 野田道宏氏 「沈降分離法」 九州大学工学部 栗谷陽一氏 「活性汚泥処理プラント最適設計法」 京都大学工学部 内藤正明氏	

月 日	内 容	参加者
9月 6日	「産業排水の水質測定自動装置の種類と機能」 岡山津製作所 岡正太郎氏 第27回講演会「水質保全問題」 1. 基準値のあり方 環境庁水質保全局水質規制課長 山中正美氏 2. 水質汚濁の諸問題 環境庁水質保全局水質規制課 矢野雄幸氏	25名 39名
10月 6日	第28回講演会 "The effects of Li AlH ₄ in a Hydride Bath" カンタベリー大学 W. B. Earl 氏 "Towards the simplified process design of continuous contact drying plant" カンタベリー大学 R. B. Keey 氏	41名
10月17日	第29回講演会 「工学における熱力学」 ライス大学 Dr. R. Kobayashi	41名
10月18日	第30回講演会 "Mixing of liquids" カリフォルニア大学 Dr. T. Vermulen	43名
10月19日 ～26日	第21回化学工学入門講習会 物質収支とエネルギー収支 広島大学 中井 資氏 相平衡 " 吉村尚真氏 物性と推算 " 頼実正弘氏 粉体 " 中丸八郎氏 流動 " 中井資氏、竹内信彦氏 中丸八郎氏	35名 22名
27-28日	演習	
昭和48年 3月15日 ～22日	第22回化学工学入門講習会 熱移動 広島大学 河村祐治氏、竹内信彦氏、吉村尚真氏 物質移動 " 頼実正弘氏、藤縄勝彦氏、中井 資氏	32名
22-23日	演習	20名

昭和57年度昭和58年度

4月28日	第68回講演会(記念講演) 「沸騰伝熱について」 姫路工業大学教授 井内 哲氏 「メタクリル酸メチルの新合成プロセスの開発」 三菱レイヨン㈱MMA新合成建設事務所所長代理 松沢英雄氏	97名
5月16日	セミナー「プロセスのファイン化をめざして」 Ⅰ. システム工学的アプローチ 「小規模装置の工学的エフィシェンシー」 京都大学工学部 長谷部伸治氏 Ⅱ. 膜分離技術の高度化 「機能性膜の進歩」 九州大学工学部 中塩文行氏 「膜を利用した微生物反応」 広島大学工学部 永井史郎氏 Ⅲ. ファインプロセスを開発するまで 「ファインプロセスの総合評価」 ダイセル化学工業㈱生産技術部 松下元彦氏 「微生物醗酵の制御について」 鍾淵化学工業㈱生産技術研究所 大薬和夫氏 「イオン交換膜による分離技術とその応用」 徳山曹達㈱開発本部 小瀬康利氏 Ⅳ. 総合討論	127名

懇話会の活動(設立25周年(昭和62年))



昭和 62 年度

月 日	内 容	参加者
4 月 17 日	第 80 回講演会 (記念講演) 「超高分子量ポリエチレンからの超高強度繊維の製造」 三井石油化学工業(株)総合研究所所長付主幹研究員 中村伸氏 「先端技術における物質の高度分離」 京都大学工学部教授 佐田栄三氏	67 名
5 月 29 日	第 9 回工場見学討論会 「大型ボイラーにおける石油コークス微粉焚」 興亜石油(株)麻里布製油所 「小型ボイラーにおける石油微粉焚」 (社)シー・シー・エス振興協会 CCS 実証試験岩国試験所	20 名
6 月 10 日	第 81 回講演会 「サブミクロン粒子の乾式分級」 広島大学工学部 増田弘昭氏 「CVD による薄膜合成とコーティングの現状」 東京大学工学部 小宮山宏氏 「近代化学技術史あれこれ」 徳島大学工学部 岡崎達也氏	50 名
9 月 4 日	第 20 回技術サロン 「天然高分子化合物の利用法と精製技術ー木材化学の周辺ー」 山陽国策パルプ(株)生産技術研究所主席研究員 玉生征人氏	30 名
10 月 12 日 ～16 日	初歩化学工学講習会 化学工学量論 広島大学 舛岡弘勝氏 流動 " 長瀬洋一氏 伝熱・蒸発 " 中丸八郎氏 蒸留・液液抽出 " 吉村尚真氏 ガス吸収 中国電食防止対策委員会 竹内信彦氏 化学反応装置 広島工業大学 中井 資氏 空気調湿・乾燥 広島大学 浅枝正司氏 固液分離・ろ過・粉砕 広島工業大学 中井 資氏 粉体操作 " 増田弘昭氏	30 名

10 月 12 日	第 82 回講演会 「ソ連における化学工学の動向」 ソ連科学アカデミー力学問題研究所 Prof. Y. P. Gupalo	23 名
10 月 15 日	第 83 回講演会 “Pure Substance PVT Measurement and Correlation” 東北大学工学部 Dr. Richard L. Smith	25 名
10 月 23 日	25 周年記念講演会(第 84 回講演会) 「新規材料へのアプローチ」 広島大学工学部 石川満夫氏 「中国地区科学光学懇話会創立の頃」 広島県立大学設置準備委員会 頼実正弘氏 「貿易摩擦と技術競争」 三菱重工業(株) 金森政雄氏	121 名
11 月 20 日	第 21 回技術サロン 「中空糸膜の機能と応用」 三菱レイヨン(株) 岩島 寛氏	27 名
昭和 63 年 1 月 29 日	第 22 回技術サロン 「有機金属を利用した機能性無機材料」 住友化学工業(株) 香西道雄氏	33 名

懇話会の活動(設立30周年(平成4年))



平成4年度

月 日	内 容	参加者
4 月 17 日	第 101 回講演会 (記念講演) 「超臨界抽出を利用したセクダリーブチルアルコール製造法の開発」 出光石油化学(株)化成研究所 山田 侃氏 「晶析分離操作の最近の動向と展望」 福山大学工学部 原納淑郎氏	75 名
6 月 29 日	廃プラスチックの回収・処理に関する見学会と講演会(第 102 回) 見学会：(株)エフピコ 「製造システム及びリサイクルシステムー現状と問題点ー」 (株)エフピコ 中野達彦氏	51 名
8 月 3 日	第 103 回講演会 “Novel Clathrate Structures” ポーランド科学アカデミー物理化学研究所 J. Lipkowski 氏	10 名
8 月 31 日 ～9 月 4 日	基礎化学工学講習会	34 名
9 月 8 日	第 104 回講演会 “CALTECH Chemical Engineering” “Aerosol Synthesis of Nano-structured Materials” カリフォルニア工科大学 Richard C. Flagan 氏	24 名
10 月 16 日	第 105 回講演会 “Ceramic Membranes for “Greener” World: The Use of Photoactive Titania to Degrade Environmental Contaminants” University of Wisconsin-Madison Marc A. Anderson 氏	23 名
10 月 20 日	第 106 回講演会 「核生成理論とその問題点」 ユタ大学 福田矩彦氏	25 名
10 月 22 日 23 日	先端技術セミナー「ポリマープロセッシング 最近の技術動向」 (山口地区化学工学懇話会と共催) 「高分子成形加工における実用的構成方程式とその適用例」 九州大学工学部 船津和守氏 「重合装置最近の技術動向」	

月 日	内 容	参加者
10 月 26 日 27 日	化学工場の自動化とその支援技術 (化学工学会関西支部、プラントオペレーション工学特別研究会と共催) 「化学工場の PA から FA 化、そして CIM へ」 神戸大学工学部 中西英二氏 「異常診断技術を備えた運転支援システム」 出光興産(株)愛知製油所 加勢田 茂氏 「プラントの自動制御と最適運転」 千代田化工(株)制御システム部 植木和夫氏 「実例ーFA 化を支えるアドバンス制御技術」 出光石油化学(株)技術部 花熊克友氏 「設備保全とその支援システム」 ダイセル化学工業(株)生産技術センター 漆野勝彦氏 「FA 化における設備管理システムの考え方」 三菱化成(株)黒崎工場 松下 元氏 「工場現場における生産管理のための情報支援システム」 (株)コンピュータ・テクニカ 山口俊之氏 「実例ーFA 化を支える設備管理技術」 三井東圧化学(株)大阪工業所 松富義昭氏	103 名
11 月 24 日	第 107 回講演会 “Process models for precipitation and the application” マンチェスター理工科大学 J. Garside 氏	92 名
平成 5 年 2 月 15 日	化学・材料加工に関するハイテクセミナー (財)広島県産業技術振興機構と共催) 第 I 部 材料・加工関連分野 「始動性の高いモータ」 (株)佐竹製作所 丸山博正氏 「耐熱性に優れた複合型制振鋼板」 日新製鋼(株)鉄鋼研究所 諫山知明氏 「ここまできた印刷機械のハイテク技術」 三菱重工業(株)広島研究所 磯野 仁氏 「プラスチック光ファイバーを使用した検査システム」 三菱レイヨン(株)東京研究所 斎藤憲敬氏 「リサイクル材料 FRP の製品化」 大協(株) 岡村雅晴氏 「ウォータージェット加工技術」	17 名

懇話会の活動(設立40周年(平成14年))



4月26日	総会・記念講演会 「産学官連携と研究成果活用プラザ広島」の役割 科学技術振興事業団研究成果活用プラザ広島 福本忠義氏 「無機分離膜の開発とその応用」 広島大学大学院工学研究科 浅枝正司氏 ＜参加88名＞	(弥生会館)
7月 5日	愛媛地区化学工学講演・見学会 —微生物による工場排水処理の最新技術— ＜化学工学会中国四国支部と共催＞ 「環境浄化微生物の挑戦」 愛媛工業技術センター 曾我部義明氏 「マイクロキャリアを用いた微生物の高密度固定化と排水処理 技術の開発」 住友化学工業㈱ 青井正廣氏、中村洋介氏 「見学会」住友化学工業㈱ ＜参加86名＞	(住友化学工業㈱)
7月25, 26日	化学工学会鳥取大会 ＜化学工学会中国四国支部他と共催＞ ＜参加167名＞	(鳥取県民文化会館)
8月 7日	夢・化学21 広島大学見学会化学への招待 ＜日本化学会中国四国支部、化学工学会中国四国支部他と共催＞ ＜参加191名＞	(広島大学)
8月 9日	第6回新技術交流会 「機能性食品γ-アミノ酸高含有テンペの生産」 池田糖化工業㈱ 古谷祐治氏 「株式会社石井表記の事業紹介」 ㈱石井表記 釜石光洲氏 「日立プラントのクリーンルームに対する取組み」 日立プラント建設㈱ 福井伊津志氏 「会社紹介他」 マナック㈱ 佐野吉男氏 ＜参加30名＞	(弥生会館)
8月22, 23, 29, 30日	基礎化学工学講習会 ＜化学工学会中国四国支部、山口地区化学工学懇話会と共催＞ ＜参加35名＞	(広成ビル)

9月17日	第142回講演会 “Nanostructured Sensors” Gerhard-Mercator-University Heinz Fissan氏 ＜参加30名＞	(広島大学)
11月25日	セミナー「リサイクル最新技術へリサイクル技術の高度化と レスポンス・ケア」 ＜化学工学会中国四国支部、山口地区化学工学懇話会他と共催＞ 「循環型産業形成プロジェクト中国地域のリサイクルの動向」 中国経済産業局 村上英夫氏 「BASF社の例に見るグリーン度評価の実態 —1997年にBASF社が導入した“エコ効率分析”の実績—」 神戸山手大学 Karl-Heinz Feuerherd氏 「焼却灰のセメント原料化処理」 ㈱トクヤマ 小川勝也氏 ＜工場見学＞「ごみ焼却灰セメント原料化施設の見学」 山口エコテック㈱ 「PETボトルのメカニカルリサイクル」 三井化学エンジニアリング㈱ 浅葉文雄氏 「二軸スクリュー押出機を用いたプラスチックのリサイクル技術」 ㈱日本製鋼所 時久昌吉氏 「自動車産業におけるリサイクル」 マツダ㈱ 藤 和久氏 ＜参加50名＞	(ホテルサンルート徳山)
12月17日	第143回講演会 「ヨーロッパでの無機膜研究—セパレート膜を用いたアンモニア分離を一例に—」 SINTEF Materials Technology 熊切 泉氏 ＜参加22名＞	(広島大学)
1月23日	第144回講演会 「分離プロセスと材料設計のための化工物性の検索・評価・推算 —インターネットとCD-ROMを用いて—」 日本大学理工学部 栃木勝己氏 ＜参加24名＞	(広島大学)
3月19日	第5回プラント保全研究会 「設備管理における腐食問題への対応」 三菱化学㈱水島事業所 宮澤正純氏 「化学工場における装置材料の損傷事例とその活用」 旭化成㈱環境安全・生産技術本部 中原正大氏 ＜参加41名＞	(広島カーデナルス)

懇話会の活動(設立50周年(平成23年))



4月15日	総会・記念講演会 （広島がーデンパレス） 「プロセスの安全設計（現場での変更管理）」 日本ポリウレタン工業株式会社 生三俊哉氏 「希少資源リンを解決するための分野複合型アプローチ」 徳島大学 杉山 茂氏 ＜参加96名＞
5月27日	広島地区安全講演会「安全管理業務の見える化」 （広島がーデンパレス） ＜化学工学会中国四国支部、化学工学会安全部会 他と共催＞ 「プロセス安全管理の論理化を目指して」 東京工業大学 仲 勇治氏 「問題の所在と＜見える化＞の必要性」 東京工業大学 洲野哲郎氏 「運転業務プロセスモデルの構築と活用」 労働安全衛生総合研究所 島田行恭氏 ＜参加40名＞
6月18日	第177回講演会：水処理のための膜技術 （広島大学） ＜膜工学科会と共催＞ “Understanding how desalination membranes work” Ben-Gurion University of the Negev Prof. Slava Freger “Biofouling mitigation of UF membranes in MBR using graft-polymerization: Measurements, mechanisms, and monitoring” Ben-Gurion University of the Negev Prof. Moshe Herzberg “High-Performance 逆浸透膜の開発と応用” 日東電工株式会社 釜田 卓氏 ＜参加32名＞
7月20日	第16回新技術交流会 （㈱日本製鋼所 広島製作所） 「アブライド統合省エネ制御システム ZU：NOS と空調システムの最新省エネ技術のご紹介」 ㈱ダイキンアブライドシステムズ 伊能利郎氏 「東洋紡製品ならびに岩国事業所の紹介」 東洋紡績株式会社 池田和仁氏 「日本製鋼所 広島製作所の概要」 ㈱日本製鋼所 藤村 浩氏 ＜参加42名＞
8月8・9日	広島大学オープンキャンパス （広島大学） ＜化学工学会中国四国支部 他と共催＞ ＜参加240名＞
9月5,7日	基礎化学工学講習会 （周南市市民交流センター） 9月8,9日 ＜化学工学会中国四国支部、山口地区化学工学懇話会と共催＞ ＜参加20名＞
9月9・10日	第5回中四国若手 CE 合宿 （ダイセル化学工業㈱、安芸グランドホテル） ＜化学工学会中国四国支部 他と共催＞ ＜参加72名＞

11月18日	セミナー「次世代の環境・革新的新エネルギー技術」 （エスポワール大竹） ＜化学工学会中国四国支部 他と共催＞ 「弾性圧電素材を用いた流力振動型発電技術に関する研究」 広島大学 陸田秀実氏 「バイオガス専燃エンジンへの転用（ロータリーエンジン）」 広島ガス㈱ 北野邦男氏 「高活性可視光応答型光触媒「iLUMiO(r)」の開発」 住友化学㈱ 酒谷能彰氏 「太陽電池用透明電極新規スパッタリングターゲット材料」 東ソー㈱ 内海健太郎氏 「エクセルギー再生による化学プラントの革新的省エネルギー技術体系」 東京大学 堤 敦司氏 「新世代エンジン SKYACTIV の開発について」 マツダ㈱ 石野勲雄氏 ＜参加62名＞
1月24日	第178回講演会 （広島大学） “Cavity and Small-Penetrant transport properties in microporous membranes: Investigations from a viewpoint of molecular modeling” 中原大学 Kai-Shiun CHANG 氏 「環状シロキサンの開環重合機構のシミュレーション解析」 広島大学 大下浄治氏 ＜参加40名＞
3月21日	第13回プラント保全研究会 （広島がーデンパレス） 「腐食モニタリングの現場適用状況および腐食事例・対策紹介」 三菱化学㈱ 宮澤正純氏 「最近のボイラの腐食事例と防止対策の実践」 第一高周波工業㈱ 川原雄三氏 ＜参加40名＞
教育支援事業	
3月1日	選考会議を実施。 中国地区化学工学懇話会 懇話会長賞 （大学院生） 福井 直也君 中国地区化学工学懇話会学生奨励賞 （学部生） 佐々木 孝紀君、新見 拓矢君 化学工学会中四国支部 支部長賞 （大学院生） 木全 彰君 （学部生） 井上 あやこ君
3月23日	卒業祝賀会で表彰

化学工学会の全国大会の開催について



昭和37年10月31日	懇話会の設立
昭和37年12月6－7日	化学工学協会広島大会 (関西支部)
昭和45年10月6－8日	化学工学協会第4回秋季大会
昭和52年4月1－4日	化学工学協会第42年会
2001年4月2－4日	化学工学会第66年会
2009年9月16－18日	化学工学会第41回秋季大会

化学工学会ホームページ



[English](#) [サイトマップ](#) [アクセス](#) [リンク集](#) [お問い合わせ](#) [Q&A \(よくある質問\)](#)

キーワード検索:

[検索](#)

夢を拓く頭脳の集い化学工学会

The Society of Chemical Engineers, Japan

重要なお知らせ

[一覧を見る](#)

2012年04月02日

[一般の方](#)

2012年度化学工学修習士 登録申込受付開始(JABEE(化学工学コース)修了者対象)

2012年03月26日

[正会員の方](#)

平成24年度 教育奨励賞の推薦受付を開始いたしました

2012年03月19日

[会員の方へ](#)

"VISION 2023"を 公開致しました

Service for Members

会員専用
[ログイン](#)

[ご入会のご案内](#)

[個人会員のご案内](#)

[部 会](#)

[支 部](#)

THE 29th 2013
INCHEM TOKYO

グリーン・イノベーション
EXPO 2012

[年 会](#)

[Q&A\(よくある質問\)](#)

[広 告 ・ 求 人](#)

[秋季大会](#)

[情報アンケート](#)

[電子図書館](#)

電子図書館のコンテンツ



書籍名		内容
学会誌「化学工学」		1975.1(VOL.39)～2011.6(VOL.75)
大会要旨集	年会	①第1(1936)～20回(1955)は焼失 ②21～25,27,29,32,47～52,64～76 年会は6月公開予定 ③他は収納
	秋季大会	①第31回秋季大会まで収納 ②第31～42回は6月公開予定
	関東支部大会	①13件収納 ②他34件6月公開予定
	関西支部大会	①28件収納 ②他20件6月公開予定
	東海支部大会	①1件収納 ②他4件6月公開予定
	中国四国支部大会	①3件収納 ②他2件6月公開予定
	九州支部大会	①2件収納 ②他8件6月公開予定
	学生発表会 (第13回まで)	①第9回(2007)西地区のみ6月公開予定 ②他は収納
レポート 類	テクニカルレポート (NO.1～38)	①NO.1～8,10～16,18～29,34,36～38 を収納 ②NO.9は公開不可 ③NO.17は欠番 ④上記以外は6月公開予定
	シンポジウムシリーズ (NO.1～NO.81)	①NO.40を寄贈希望 ②NO.22,50,68,77,80,81は公開不可 ③その他は収納
	材料装置委員会資料集	①14冊分を収納 ②他6冊分を6月公開予定
辞典・便覧	化学工学便覧	①初版(1950),新版(1958),改訂3版(1968), 第4版(1978),第5版(1988)を収納 ②第6,7版は公開不可

	①17冊を収納 ②NO.38,42,43,45～60は公開不可 ③残り21冊は6月公開予定
化学工学の進歩 (NO.1～44)	①NO.7,9～11,13～40を収納(32冊) ②NO.41は欠番 ③NO.42を寄贈希望 ④NO.1～6,42-44は公開不可 ⑤上記以外は6月公開予定
化学機械技術 (NO.1～50)	①NO.11,12,18～28,40,42～44を収納(17 冊) ②NO.30～33,46,47,49,50を寄贈希望 ③NO.1～7,15～17は公開不可 ④上記以外は6月公開予定
プロセス設計 (NO.1～8)	①NO.7を収納 ②NO.5,8を寄贈希望 ③上記以外は6月公開予定
プロセス機器構造設計 (NO.1～6)	①NO.4を収納 ②上記以外は6月に公開予定
化学プラント建設技術 (上,中,下)	6月公開予定
環境保全技術Ⅰ (悪臭・炭化水素排出防 止技術)(NO.1～3)	公開不可
環境保全技術Ⅱ (化学プラント安全対策 技術)(NO.1～4)	①NO.1を収納 ②上記以外は6月公開予定
環境保全技術Ⅲ (水質汚濁防止技術と 装置)(NO.1～6)	公開不可

化学工学協会 第4回 秋 季 大 会

期 日 10月6日(火)～8日(木) [8日は見学会]

会 場 中国新聞ビル(広島市土橋町7番1号)

[交通] 広島電鉄バス(青): 広島駅から百米道路經由空港行きに乗車河原町下車。

広島帝産バス(赤): 広島駅前郵便局前より吉島(アパート)行きに乗車、公会堂前下車、徒歩5分

市内電車: 紙屋町經由宇品行乗車、白神社前下車、徒歩10分

タクシー(小型): 広島駅より約160円

日 程 表

	10 月 6 日 (火)		10 月 7 日 (水)		10月8日 (木)
	午 前	午 後	午 前	午 後	
A 会場	9:30~12:10 ＜拡散操作＞	13:00~13:50 ＜特別講演＞ 14:00~14:50 ＜展望講演＞ 15:00~17:00 ＜拡散操作＞	10:00~12:00 ＜拡散操作＞	13:00~13:50 ＜特別講演＞ 14:00~14:50 ＜展望講演＞ 15:00~17:00 ＜その他＞	工 場 見 学 会
B 会場	9:30~11:50 ＜拡散操作＞	14:00~15:00 ＜拡散操作＞ 15:00~17:00 ＜品質マネジメント＞	9:30~12:10 ＜システム工学＞	14:00~16:20 ＜システム工学＞ 16:20~17:20 ＜装飾材料・構造＞	
C 会場	9:30~12:10 ＜伝 熱＞	14:00~17:20 ＜物性・平衡＞	9:10~12:10 ＜物性・平衡＞	14:00~17:20 ＜物性・平衡＞	
D 会場	9:30~12:10 ＜流 動＞	14:00~17:20 ＜流 動＞	9:10~10:10 ＜機 動＞ 10:10~12:10 ＜反応装置＞	14:00~17:40 ＜反応装置＞	
E 会場	9:30~11:50 ＜反応速度＞	14:00~17:20 ＜反応速度＞	9:30~11:10 ＜反応速度＞ 11:10~12:10 ＜物質移動＞	14:00~17:20 ＜物質移動＞	
F 会場	9:30~12:10 ＜粉 体＞	14:00~17:20 ＜機械的単位操作＞	9:30~12:10 ＜機械的単位操作＞	14:00~16:20 ＜機械的単位操作＞	
17:30~18:30 (懇談会)					



中国地区化学工学懇話会

[ホーム](#)[事業](#)[アーカイブ](#)[役員](#)[会員](#)[リンク](#)

中国地区化学工学懇話会

〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1

広島大学大学院工学研究科化学工学専攻内

2012年度

([2011度はこちら](#))

2012/4/20(金)

[中国地区化学工学懇話会50周年式典](#)

[平成24年度総会ならびに記念講演会](#)(主催)

会場: ホテルグランヴィア広島

総会(13:40~14:10)

50周年式典(14:30~15:20)

記念講演会(15:30~17:20)

1. 「持続可能社会実現のための化学工学会の役割と化学工学の役割」

工学院大学工学部 中尾 真一 氏

2. 「グローバル化する化学産業とプラント建設: 日本は何を目指すのか？」

住友ケミカルエンジニアリング 石丸 裕 氏

祝賀会(17:30~19:30)

会員について



団体会員: (株)旭製作所, (株)アサヒテクノリサーチ, 池田糖化工業(株), 出光興産(株)徳山工場 徳山製油所, MHIソリューションテクノロジーズ(株), 大下産業(株), (株)北浜製作所, 協同組合環境改善推進センター, (株)ケミカル山本, 寿工業(株)化工機事業部, (株)サタケ, 新川電機(株)中国支社, JX日鉱日石エネルギー(株)麻里布製油所, 住友化学(株)愛媛工場, (株)ダイキンアプライドシステムズ, ダイセル化学工業(株)大竹工場, 高砂熱学工業(株)広島支店, 中国化薬(株)江田島工場, (社)中国地域ニュービジネス協議会, 中国電力(株)エネルギー総合研究所, 月島機械(株)広島支店, 帝人エンテック(株)エンジニアリング研究所, 帝人化成(株)松山工場, 東ソー(株), (株)東洋高圧, 東洋紡績(株)岩国事業所, (株)トクヤマ 徳山製造所, 戸田工業(株)創造本部, 西川ゴム工業(株), 日新製鋼(株)技術研究所, (株)日本化薬福山, 日本ケッチェン(株)新居浜事業所, (株)日本製鋼所 広島製作所 研究開発本部, 日本製紙(株)岩国工場, 日本製紙ケミカル(株)技術本部, (株)日本総合科学 環境技術センター, 日本ポリウレタン工業(株)南陽工場, バブコック日立(株)呉研究所, (株)日立プラントテクノロジー 中国支社, 広島ガス(株), 広島ガステクノ(株), 広島大学大学院工学研究科 化学工学専攻, 富士化水工業(株), ホーコス(株), マツダ(株)技術研究所, マナック(株)福山工場, 丸二(株), 三井化学(株)岩国大竹工場, 三井金属鉱業(株)電池材料事業部, 三井・デュポンポリケミカル(株)大竹工場, 三菱重工業(株)技術本部 広島研究所, 三菱重工交通機器エンジニアリング(株), 三菱レイヨン(株)生産技術研究所, (株)三ツワフロンテック, メキシケムジャパン(株)三原製作所, ヤスハラケミカル(株)福山工場, (株)山武アドバンスオートメーションカンパニー, ユニオン石油工業(株)岩国工場, 米子工業高等専門学校 (59社)

個人会員: 専徳院 博, 村上 光春 (2名)

名誉会員: 浅枝正司, 厚川麻須美, 有路泰久, 石丸 裕, 伊野木 勲, 岡田吉夫, 織田貞四郎, 小野正男, 河村祐治, 篠田 直晴, 白神誠一, 角 祐一郎, 中井 資, 長瀬 洋一, 中西宏幸, 西本是彦, 藤木俊一, 舛岡弘勝, 松村昌信, 頼實正弘 (20名)

懇話会の組織について



会長： JX日鉱日石エネルギー(株)・岩瀬淳一

副会長： バブコック日立・高本成仁

理事会： 出光興産・久保田忠義氏, MHIソルテック・広畑雅裕氏, (株)サタケ・保坂幸男氏, JX日鉱日石エネルギー(株)・大山 隆氏、住友化学・清水豊満氏, (重松邦彦氏)、ダイセル・山田義博氏、トクヤマ・山田哲史氏, 戸田工業・浦井智明氏, 日本製鋼所・藤村 浩氏, バブコック日立・高本成仁氏, 広島ガス・和田博喜氏、三井化学(株)・原茂氏, 三菱レイヨン・牧野英顯氏

幹事会： 加藤(アサヒテクノリサーチ), 松田(サタケ), 細川(出光興産), 大山(JX日鉱日石エネルギー), 竹内(中国NBC), 内藤(帝人エンテック), 梶本(トクヤマ), 矢野(住友化学), 服部(日本製鋼), 玉森(広島ガス), 富田・栢(三井化学), 星野(三菱レイヨン), 都留・木原・矢吹(広島大学)

監事： 住友化学(株)清水豊満, MHIソルテック(株) 広畑雅裕

歴代会長



	会長名(会社名)	副会長名(会社名)
37～38	井内建次郎(広島大学工学部)	
39～40	竹田 徹(三菱重工業(株)広島造船所)	
41～43	金森 政雄(三菱重工業(株)広島造船所)	
44～47	宇野九十九(三菱重工業(株)広島研究所)	
48～50	福井 三郎(三菱重工業(株)広島研究所)	
51～52	荒巻 誠吾(三菱重工業(株)広島研究所)	
53～54	織田貞四郎(三菱重工業(株)広島研究所)	
55～56	鳥谷 好夫(三井石油化学工業(株)岩国大竹工場)	
(56.10)	藤木 俊一(三井石油化学工業(株)岩国大竹工場)	
57～59	厚川麻須美(三菱重工業(株)広島研究所)	
60～61	平田 次男(興亜石油(株)麻里布製油所)	西本 是彦(三菱重工業(株)広島研究所)
62～63	勝屋 貞雄(三菱レイヨン(株)大竹工場)	西本 是彦(三菱重工業(株)広島研究所)
H元～2	角 祐一郎(山陽国策パルプ(株)岩国工場)	渥美 豪介(ユニオン石油工業(株))
3～4	渥美 豪介(ユニオン石油工業(株))	伊野木 勲(三原菱重エンジニアリング(株))
5～6	中西 宏幸(三井石油化学工業(株)岩国大竹工場)	伊野木 勲(三原菱重エンジニアリング(株))
7～8	有路 泰久(ダイセル化学工業(株)大竹工場)	小野 正男(菱明技研(株))
9～10	正木 節(三菱レイヨン(株)大竹事業所)	岡田 吉夫(出光石油化学(株)化成品研究所)
	河田 英明(三菱レイヨン(株)大竹事業所)	
11～12	岡田 吉夫(出光石油化学(株)化成品研究所)	篠田 直晴(戸田工業(株)創造本部)
13～14	石丸 裕(住友化学工業(株)生産技術センター)	篠田 直晴(戸田工業(株)大竹創造センター)
15～16	石丸 裕(住友化学(株)生産技術センター)	岩田 昭(新日本石油精製(株)麻里布製油所)
		保坂 幸男(株)サタケ
17～18	白神 誠一(株)トクヤマ 徳山製造所)	保坂 幸男(株)サタケ
19～20	小林 一登(三菱重工業(株)広島研究所)	保坂 幸男(株)サタケ
21～22	山口 芳輝(三井化学(株)岩国大竹工場)	高本 成仁(バブコック日立(株)呉研究所)
22～23	岩瀬 淳一(JX日鉱日石エネルギー(株)麻里布製油所)	高本 成仁(バブコック日立(株)呉研究所)

現在の活動

4月 総会

記念講演会

6月 新技術交流会

9月 基礎化学工学講習会

11月 セミナー

3月 プラント保全研究会

(適宜) 講演会

学生表彰

懇話会会長賞

- 特定のテーマについて，一日にわたる講習会
- 企業幹事を中心としてテーマ設定
- 講習だけでなく，見学会も開催

テーマの例

- H23.11 「次世代の環境・革新的新エネルギー技術」
- H22.11 「新エネルギーと電気自動車(EV)ー技術の現在と将来像」
- H21.11 「低炭素社会形成に向けて「CO₂と向き合って地球に笑顔を！」
- H20.11 「“未利用資源”を有効活用する変換技術とエネルギー生産」
- H19.11 「新技術創成の鍵ー産官学連携の成功のためにー」
- H18.12 「21世紀を担う水素エネルギーと蓄電システムの実現に向けて」
- H17.12 「半導体・LSI製造の最前線」＜講演＆見学＞ ～半導体の今と未来を支える材料開発と製造技術～」
- H16.11 「エネルギー自由化時代の到来」＜講演＆見学＞
(エネルギーの自由化に関する国，企業の取り組み)」
- H15.11 「シミュレーション技術の最新動向と実演」
- H14.11 「リサイクル最新技術～リサイクル技術の高度化とレスポンスブル・ケア」
- H13.11 「地球にやさしい新エネルギー」
- H12.10 「IT化の中でのプラントオペレーションの最前線」

新技術交流会



- 会員企業からの技術紹介
- 気軽な交流会

2011年度の例

日時:平成23年7月20日(水)15:00～19:30

会場:(株)日本製鋼所広島製作所

I 新技術交流会15:00～17:15

- 1)「アプライド統合省エネ制御システムZU:NOSと空調システムの最新省エネ技術のご紹介」

(株)ダイキンアプライドシステムズ 伊能利郎氏

- 2)「東洋紡製品ならびに岩国事業所の紹介」

東洋紡岩国事業所池田和仁氏

- 3)「日本製鋼所広島製作所の概要」

(説明の後、施設の見学がございます)

(株)日本製鋼所広島製作所藤村浩氏

II 交流会17:40～19:30

基礎化学工学講習会



- 大学・高専・高校などで化学工学を専攻していない方が対象
- 4日間にわたる講義と演習
- オプション講習として, 化学工学実験(広大)
- 山口地区懇話会と交互開催→単独開催(H24から)

2010年度の講習例

- 9 月 15 日 9:30-12:30 化学工学量論 迫原修治氏(広島大学)
13:30-16:30 流動操作 島田 学氏(広島大学)
- 9 月 16 日 9:30-12:30 粉粒体操作 福井国博氏(広島大学)
13:30-16:30 吸着・調湿操作 福地賢治氏(宇部工業高等専門学校)
- 9 月 21 日 9:30-12:30 反応工学 飯澤孝司氏(広島大学)
13:30-16:30 ガス吸収・膜分離操作 喜多英敏氏(山口大学)
- 9 月 22 日 9:30-12:30 蒸留操作 滝島繁樹氏(広島大学)
13:30-16:30 熱移動操作 矢吹彰広氏(広島大学)

オプション講習 9 月 27 日 13:00-17:00

連続精留, 充填塔ガス吸収装置の圧力損失と物質移動
円管内境膜伝熱係数, PID制御による液面制御

50周年記念事業



- ・記念式典
- ・記念講演会 中尾 真一 先生
 石丸 裕 氏
- ・50周年記念誌の作成, 6月配布予定
 内容: ・設立から50年間の行事
 ・25周年記念誌の復刻
 ・寄稿(歴代会長, 名誉会員, 会員)
- ・ホームページのリニューアル
 アーカイブの充実
- ・50周年記念品
 ペーパーナイフ

- 懇話会は、企業と大学の連携の場
- 学術および技術の発展と会員相互の親交
- 人材育成の場

化学工学の明るい未来と

懇話会75周年を目指します。

今後とも中国地区化学工学懇話会へご支援を

お願い申し上げます。